

2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

株式会社 F U J I



# 目次

- 会社概要
- 第2四半期決算の概要
- 2020年3月期 業績予想
- 事業方針・その他

# 会社概要

# 会社情報

(2019年3月現在)

設立	1959年4月7日
資本金	58.78億円
従業員数	2,449人
売上高	1,291億円
営業利益	231億円
経常利益	234億円
主要製品	電子部品実装ロボット 工作機械



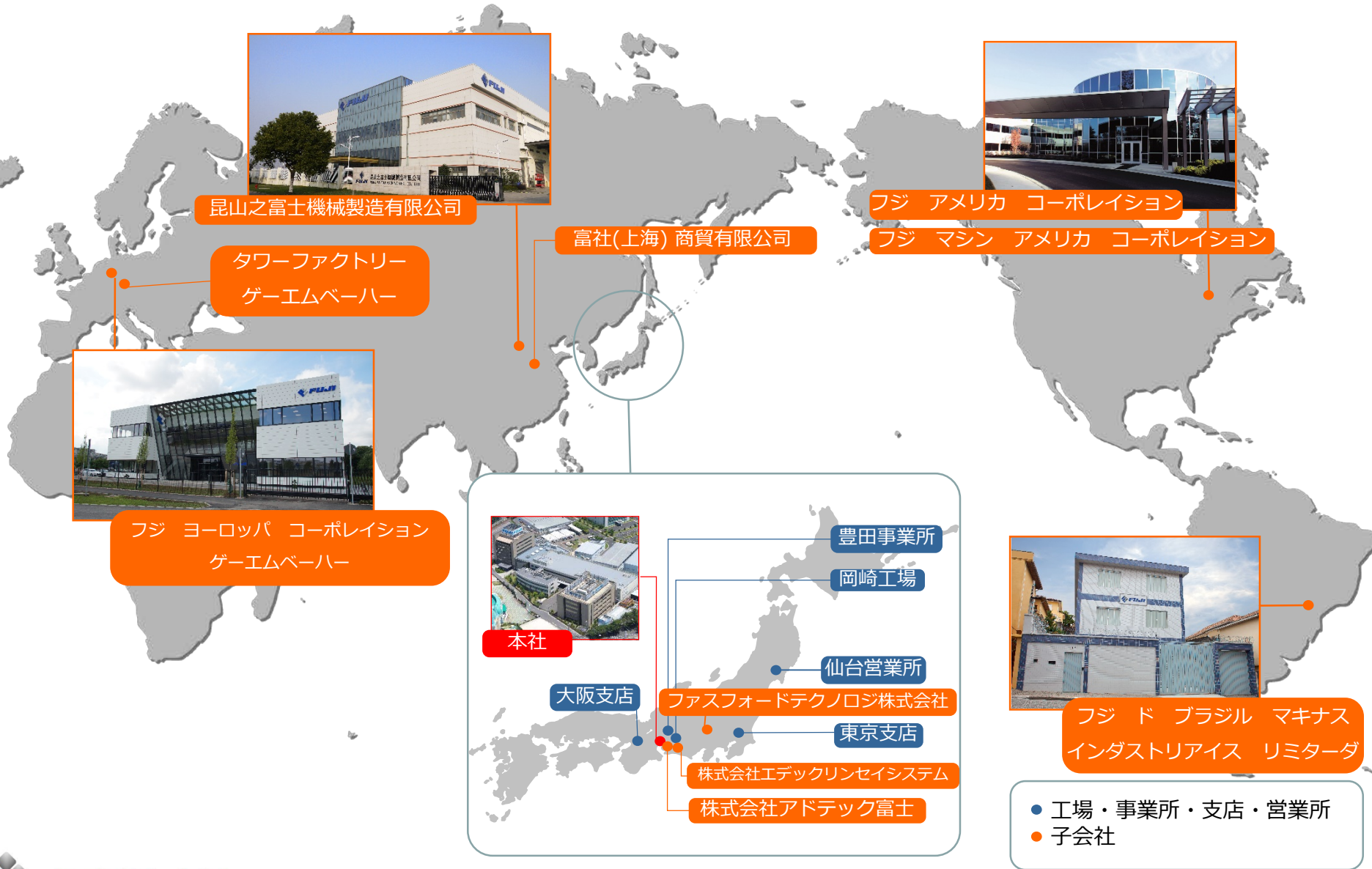
本社外観（愛知県知立市）

海外拠点： アメリカ、ドイツ、中国、ブラジル他

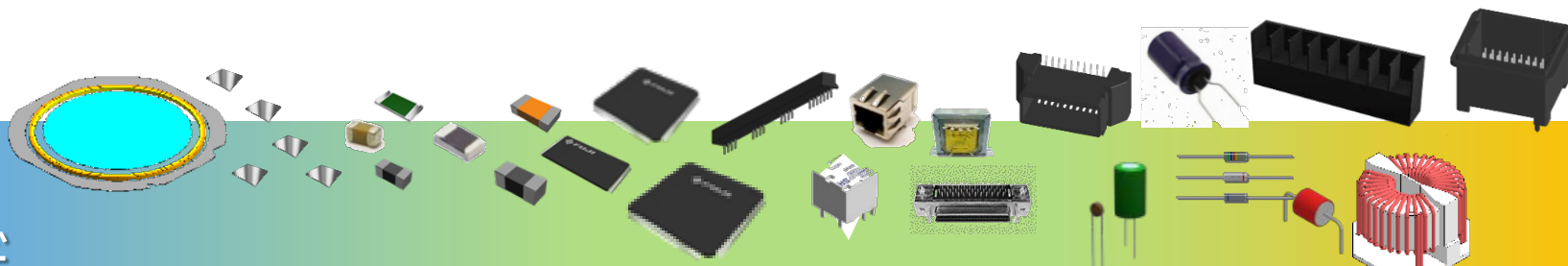
# 主な沿革

1959年	名古屋市中川区昭和橋において富士機械製造株式会社を設立
1970年	米国現地法人フジ アメリカ コーポレーション設立（現連結子会社）
1971年	NC自動旋盤完成
1978年	電子部品自動挿入機 BA完成
2003年	モジュール型高速多機能装着機 NXT完成
2010年	超高密度 大気圧プラズマユニット Tough Plasma完成
2013年	東京証券取引所市場第一部上場
	モジュール型生産設備 DLFn 旋盤モジュール完成
2014年	中国・昆山工場操業開始
2016年	パブリックストックシステム Quist完成
	移乗サポートロボット Hug完成
2017年	小型多関節ロボット SmartWing完成
2018年	「富士機械製造株式会社」から「株式会社FUJI」へ社名変更
	ファスフォードテクノロジー社を完全子会社化

# 拠点



# ロボットソリューション事業



はんだ  
印刷

Die

SMD

挿入部品



GPX-C

NXT-H

NXT III  
Fuji Scalable Placement Platform

AIMEX III  
AIMEX III C

sFAB-α

sFAB-D

軽作業ロボット

プラズマ処理装置

宅配ロッカーシステム

介護ロボット



Tough Plasma

Quist

Hu9  
移乗サポートロボット

# ファスフォードテクノロジー社とのシナジー

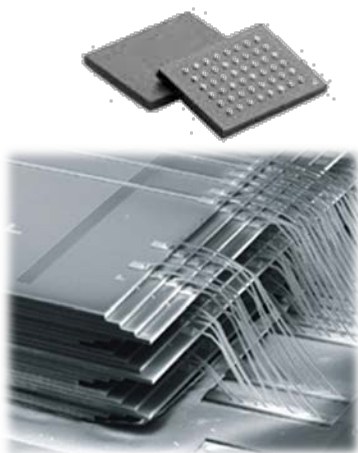
ファスフォードテクノロジー(半導体製造 後工程)とFUJII (SMT工程)の連携により、  
両分野にまたがる新しい事業領域に対し、新たな価値を創造していきます



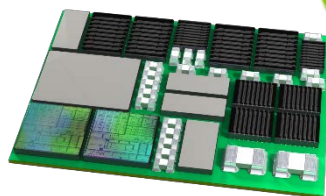
半導体製造 後工程  
(Assembly)

SMT工程

DRAM  
NAND

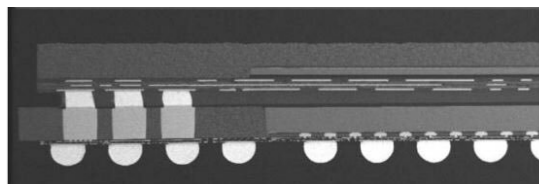


SiP,  
モジュール



WLP

FOWLP/PLP



スマホ  
車載etc

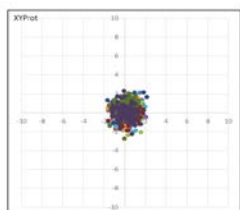
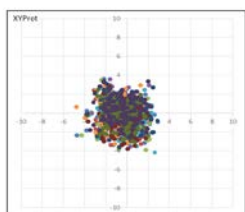




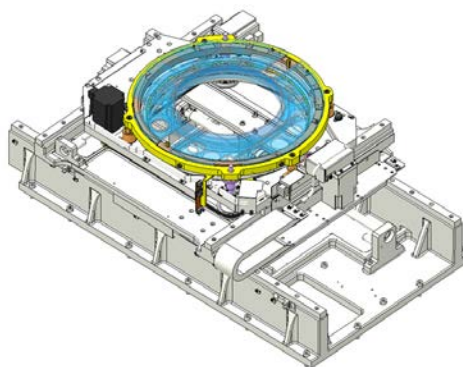
# ファスフォード社の技術のFUJI装置への展開



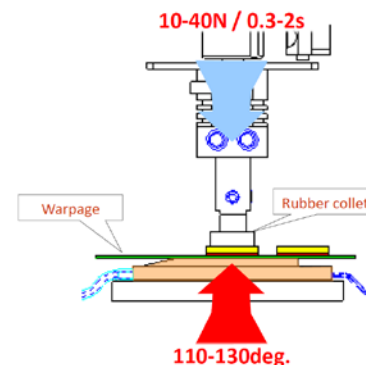
精度補正技術  
( $3\sim 5\mu\text{m } 3\sigma$ )



ウエハエキスパンダ技術



薄部品の吸装着加熱、  
加圧実装技術



ダイボンダーの技術をFUJIのマウンターに  
組み入れ、商品競争力向上

# 大気圧プラズマユニット Tough Plasma FPF20-GM

◆世界最高レベルの表面改質

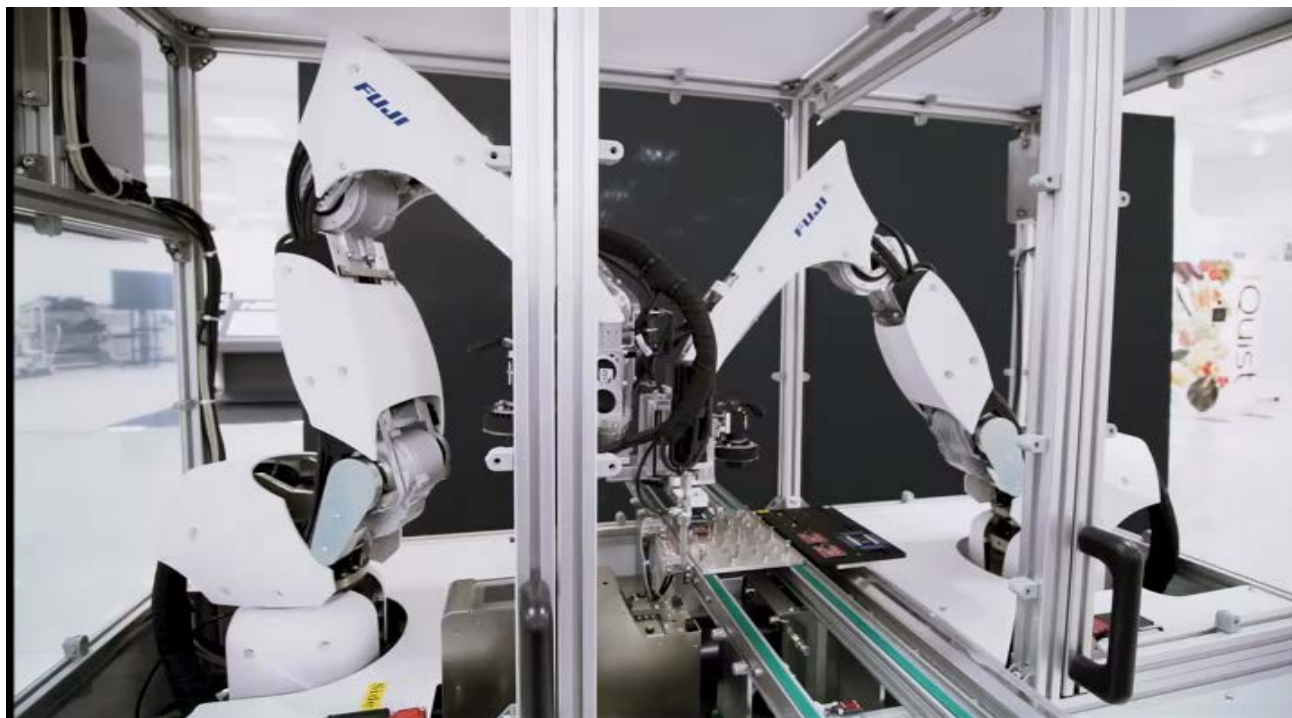


自動車・航空宇宙・医療機器・電子部品等  
の異種材料の接着前処理

海外規格認証取得：欧州CEマーク  
北米UL認証

# 小型多関節ロボット SmartWing

- ビジョンシステムを標準搭載
- 座標補正技術とビジョンデータを活用し、ティーチングの手間を削減。  
立上げ時間を従来に比べて約40%削減することができます（当社規定動作による比較）
- ロボットに登録済みの動作に『何を』『どこに』の情報を与えるだけの簡単な操作で、ロボットの動作を作成することが可能



# 移乗サポートロボット



ロボットで抱え上げないらくらく介護を実現

- ①コンパクト・軽量化により在宅環境にも適合
- ②100kgの方までしっかり、軽々移乗
- ③ベルト不要でサッと準備、リモコンで簡単操作
- ◆各大手レンタル卸し事業者と契約・量販
- ◆国際福祉機器展（東京）2019/9/23-25 出展

病院・施設向け



移乗サポートロボット

Huq T1-02

在宅向け



# パブリックストックシステム **Qui**st



- ・ラインナップ拡充によりニーズに合わせた柔軟な装置構成が可能
- ・業界トップレベルの防塵・防水性能を実現 (IP54)
- ・大手物流キャリア2社とのシステム連携を可能に
- ・働き方改革EXPO (名古屋) 2020/2/12~14 出展予定
- ・リテールテックJAPAN2020 (東京) 2020/3/3~6 出展予定

# マシンツール事業

正面2スピンドル旋盤  
**CSシリーズ**



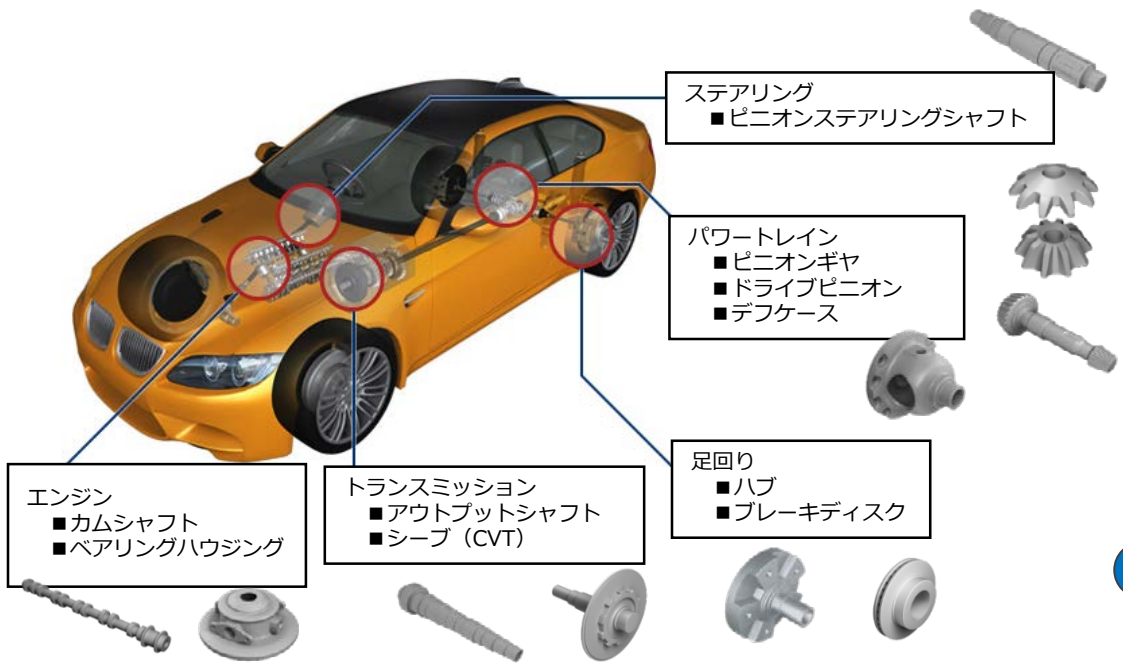
ステアリング  
■ピニオンステアリングシャフト

パワートレイン  
■ピニオンギヤ  
■ドライブピニオン  
■デフケース

足回り  
■ハブ  
■プレーキディスク

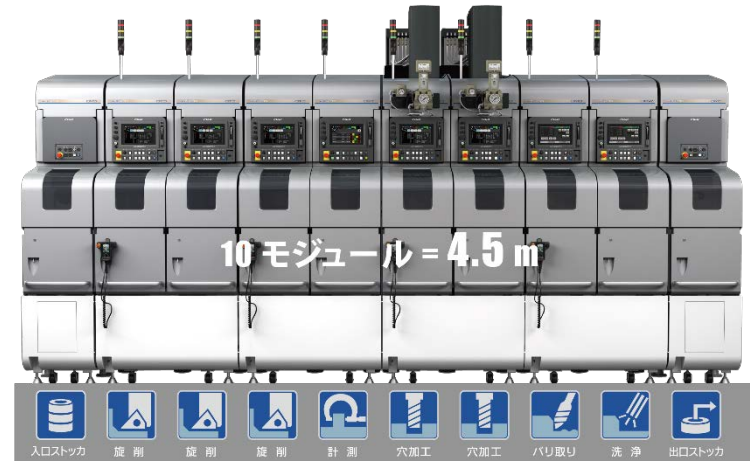
エンジン  
■カムシャフト  
■ベアリングハウジング

トランスミッション  
■アウトプットシャフト  
■シーブ (CVT)



モジュール型生産設備

**DLFN**



横型NC旋盤

**TNシリーズ**



# 第2四半期決算の概要

# 第2四半期 決算のポイント

## ➤ ロボットソリューション事業

スマートフォン、次世代通信規格 5G 関連向け設備が堅調に推移したため、主に中国市場向け売上が伸長した一方、日本国内および北米市場においては、世界経済の先行き不透明感から設備投資に対し慎重な姿勢が見られました。

## ➤ マシンツール事業

日本国内では売상을伸ばしたものの、北米市場での設備投資が軟調に転じたため、前期に比べ売上が微減となりました。

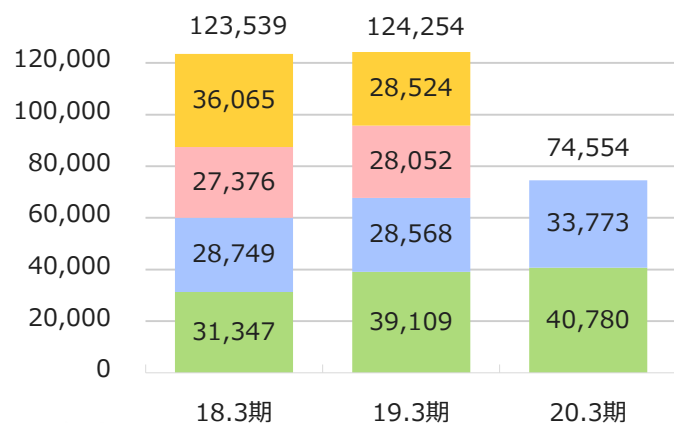


# 2020年3月期 第2四半期 業績

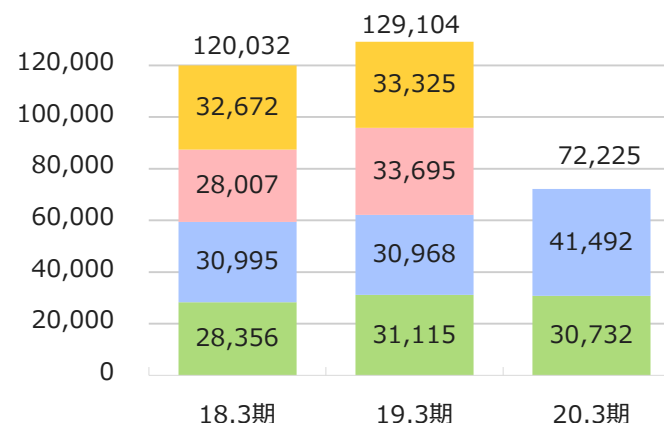
(百万円)

	19.3期 Q2 累計実績	20.3期 Q2 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	67,677	74,554	+6,876	+10.2%
売上高	62,083	72,225	+10,141	+16.3%
営業利益	11,535	11,230	▲304	▲2.6%
経常利益	11,982	11,351	▲630	▲5.3%
当期純利益	8,670	8,685	+15	+0.2%

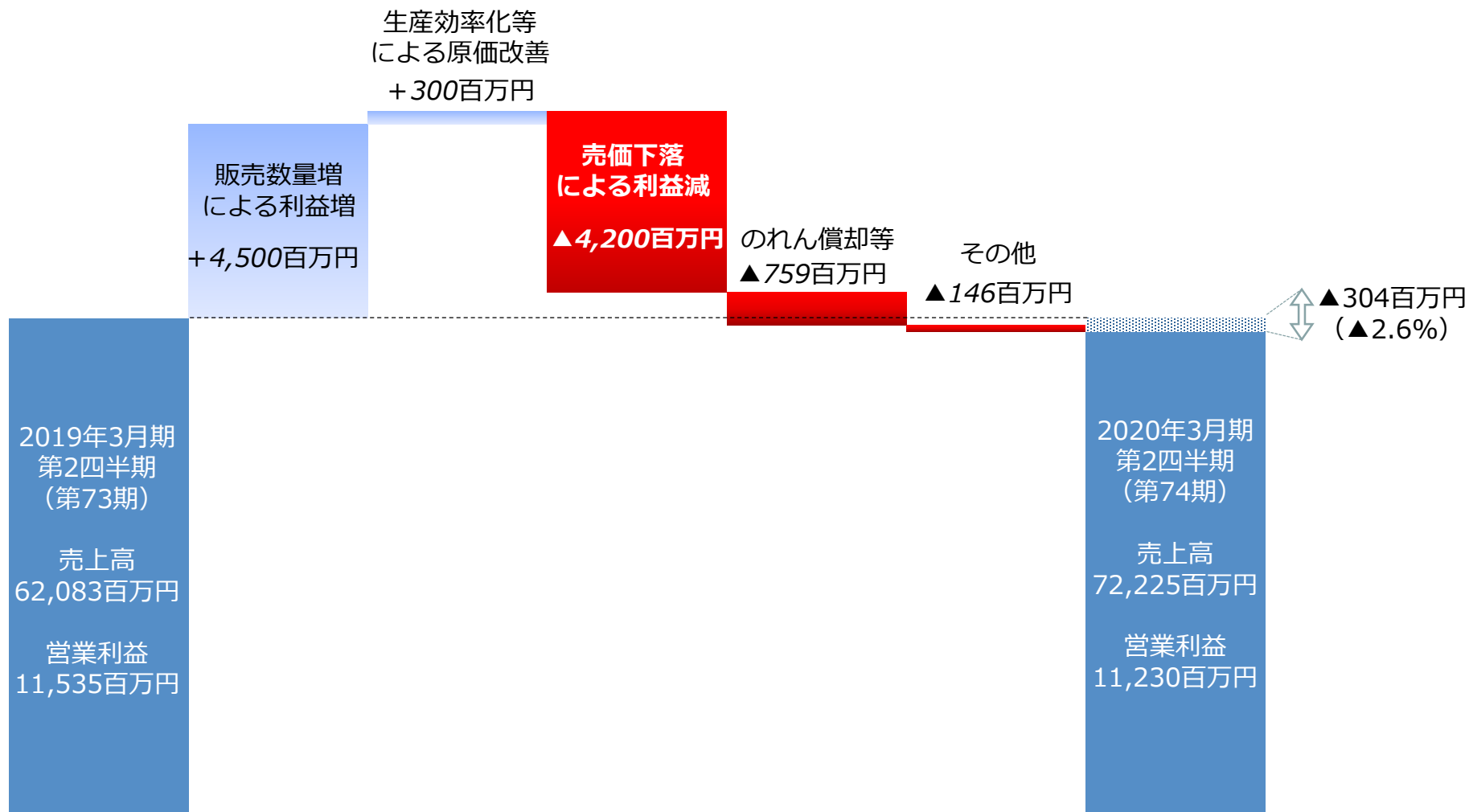
受注高



売上高



# 営業利益増減分析

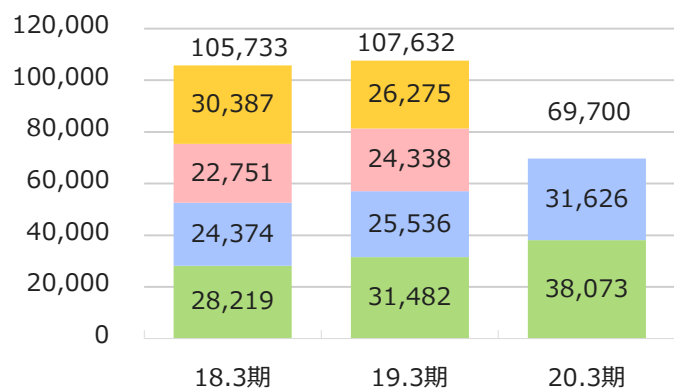


# ロボットソリューション事業 業績

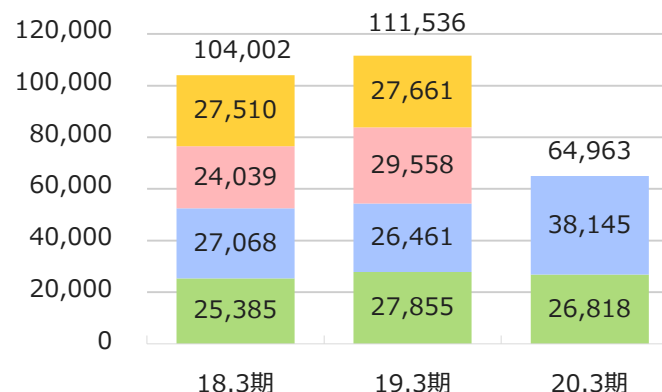
(百万円)

	19.3期 Q2 累計実績	20.3期 Q2 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	57,018	69,700	+12,682	+22.2%
売上高	54,317	64,963	+10,646	+19.6%
営業利益	13,103	12,594	▲509	▲3.9%
受注残高	27,320	22,419	▲4,901	▲17.9%

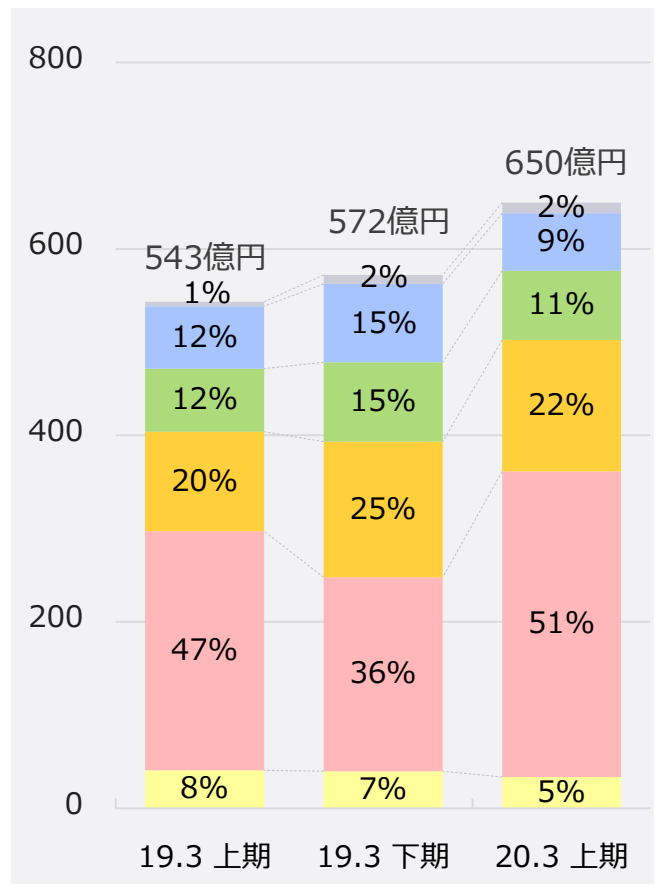
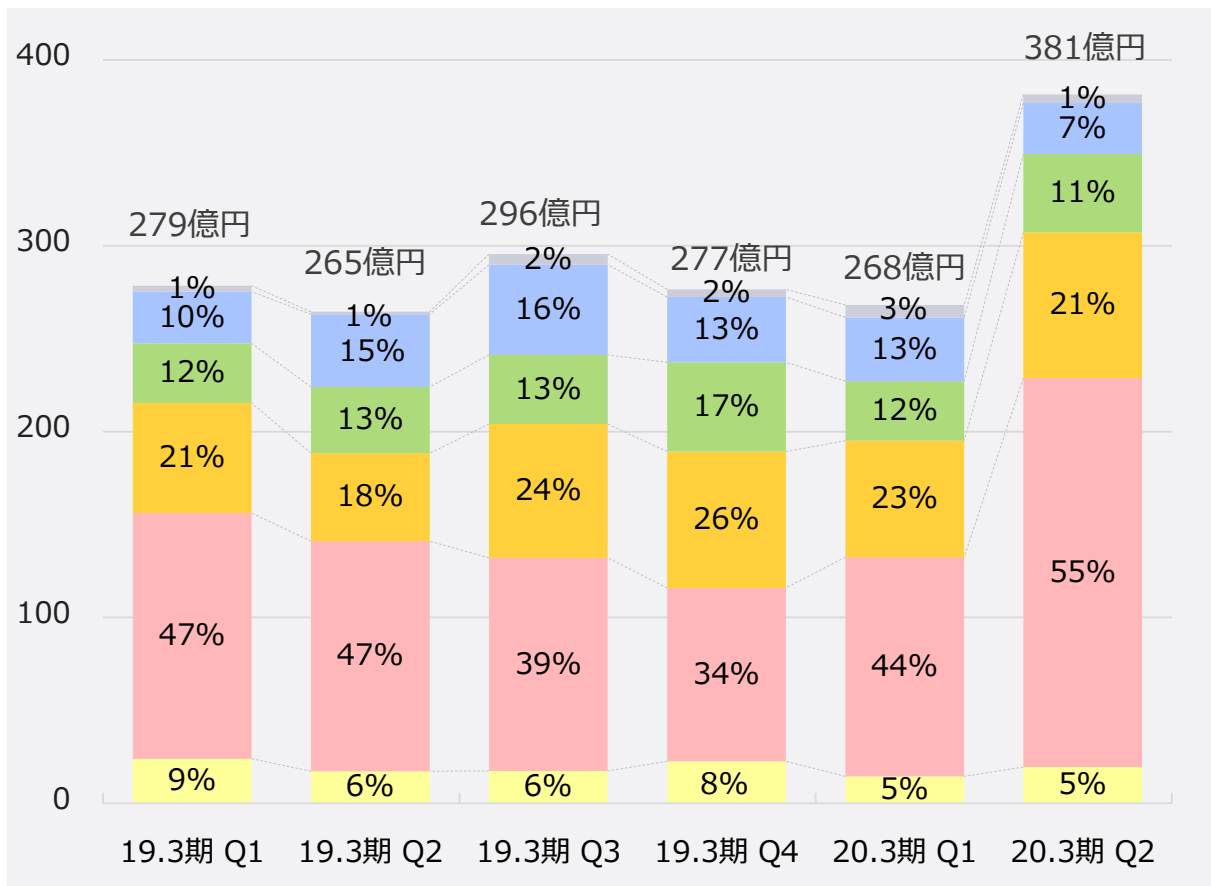
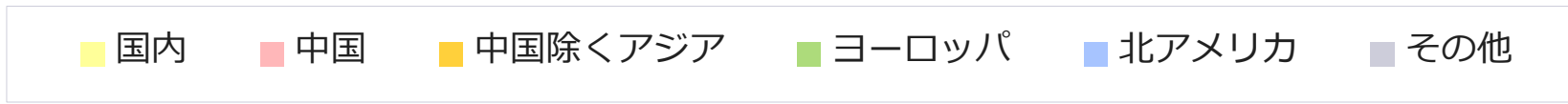
受注高



売上高

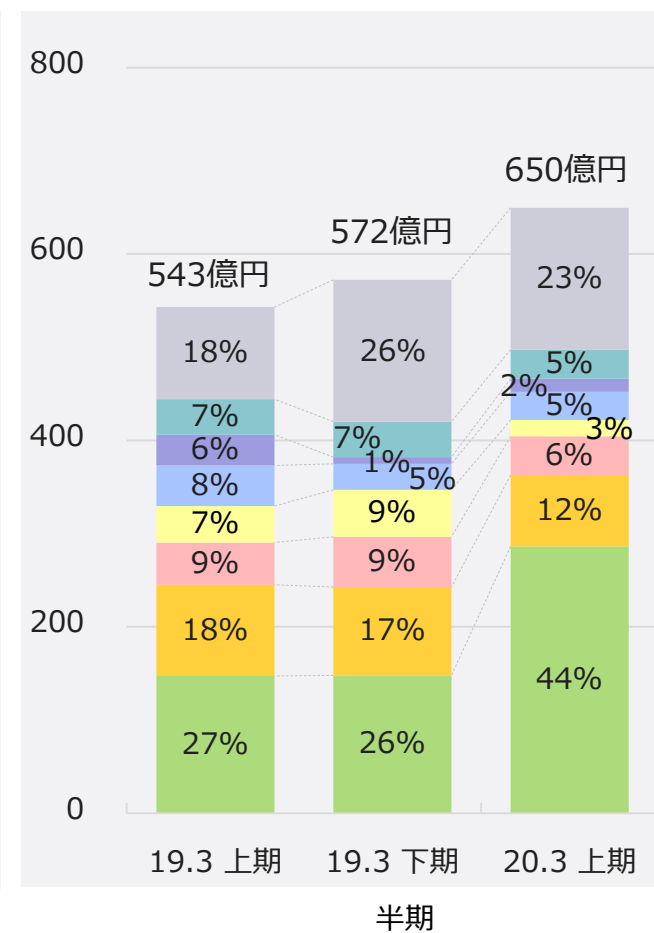
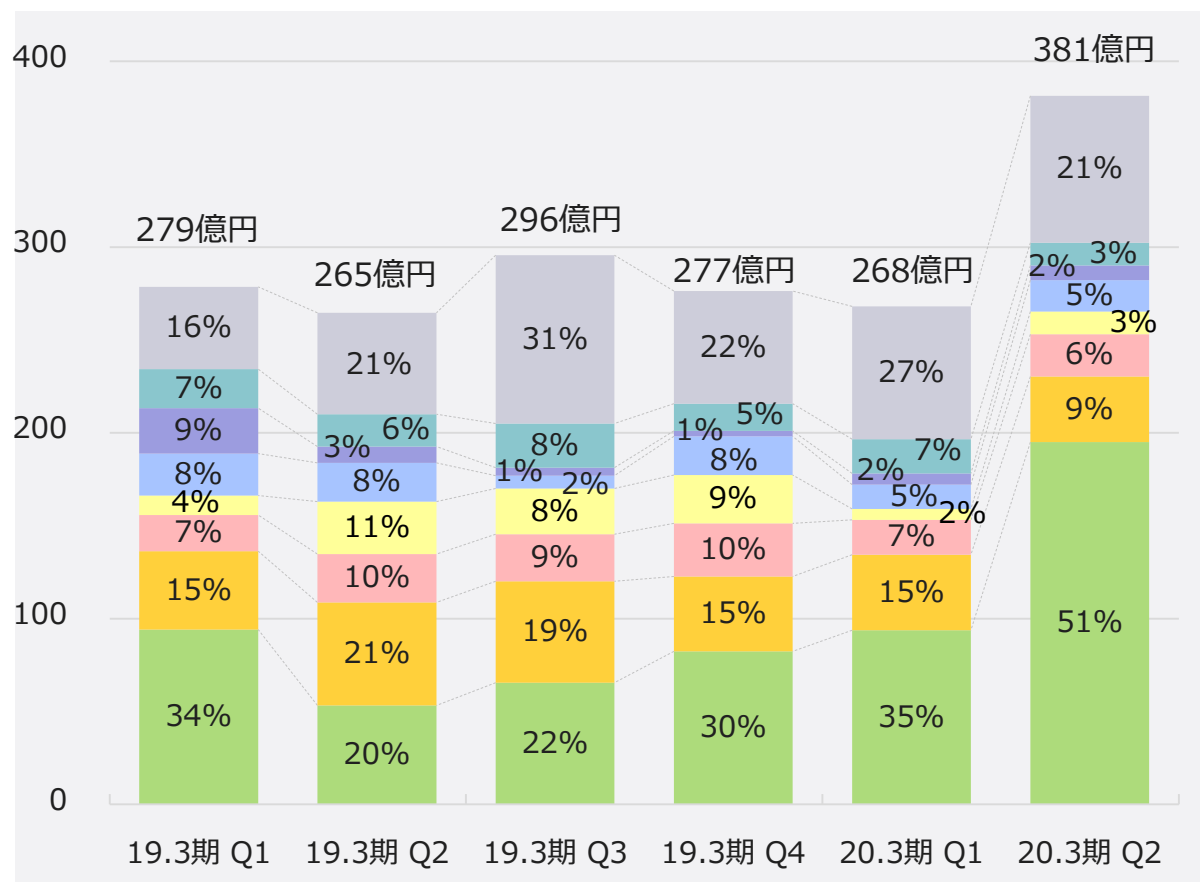


# ロボットソリューション事業 地域別売上高



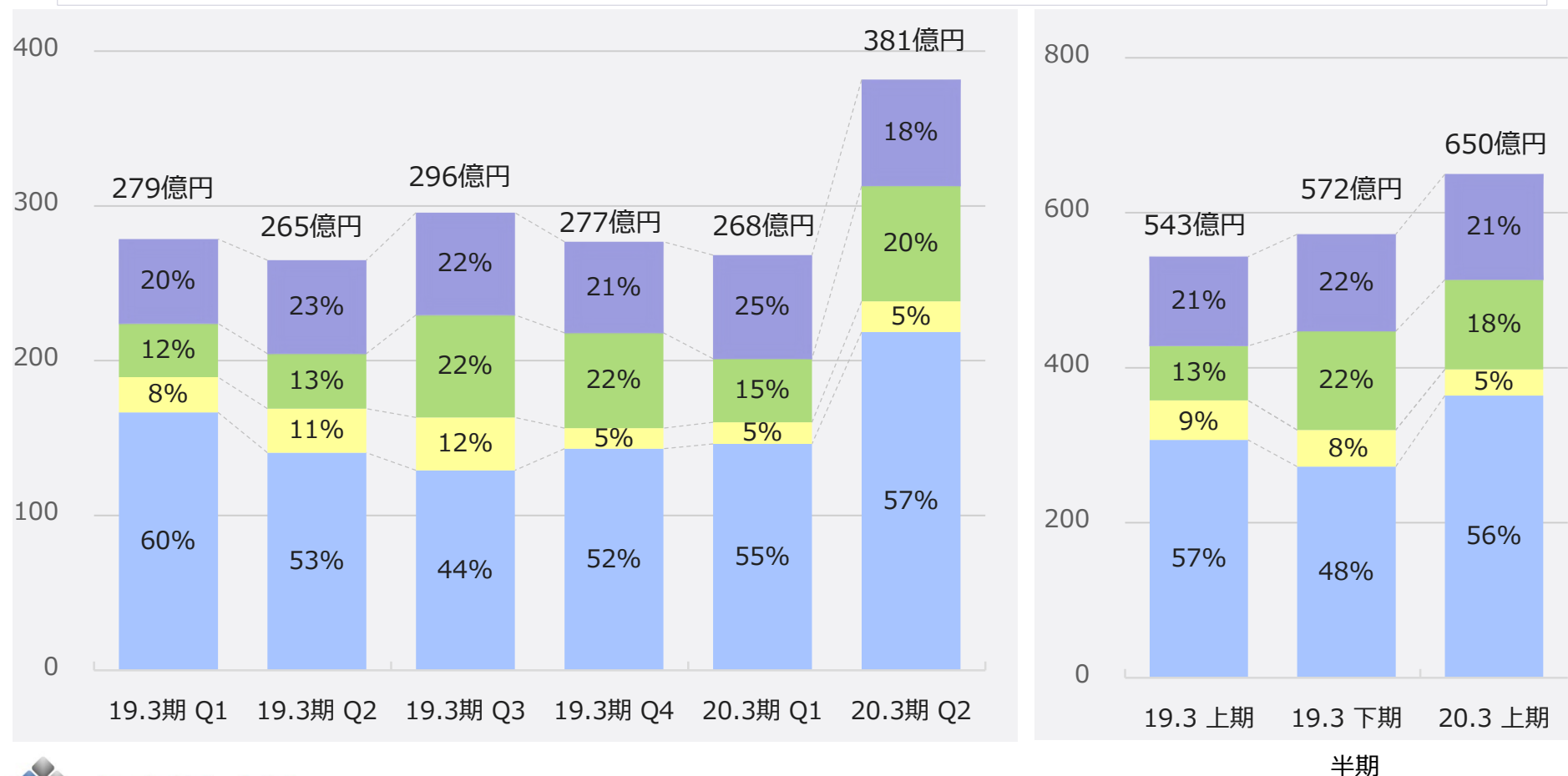
# ロボットソリューション事業 業種別売上高

■ 通信 ■ 車載 ■ コンピュータ ■ サーバー ■ 家電 ■ モジュール部品 ■ 産業機械 ■ その他



# ロボットソリューション事業 機種別売上高

■ 高速装着機 (NXTシリーズ)    
 ■ 汎用装着機 (AIMEXシリーズ)    
 ■ その他装置    
 ■ 部品・改造・修理

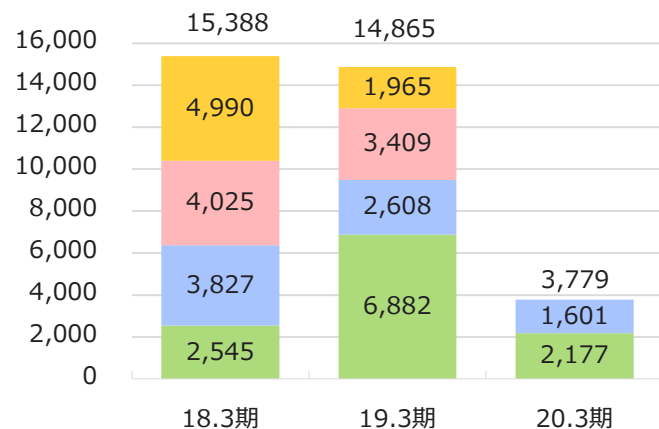


# マシンツール事業 業績

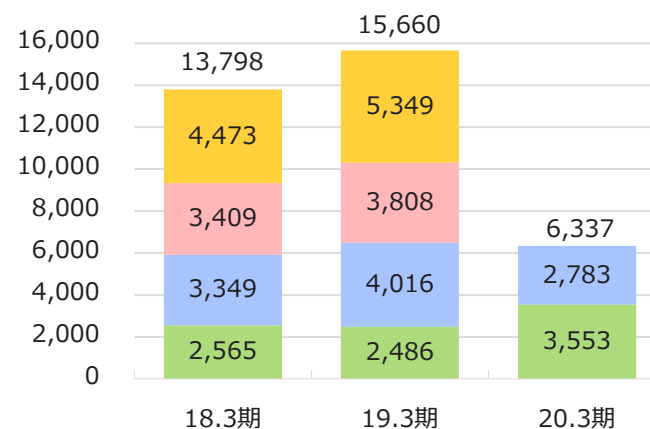
(百万円)

	19.3期 Q2 累計実績	20.3期 Q2 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	9,490	3,779	▲5,711	▲60.2%
売上高	6,502	6,337	▲164	▲2.5%
営業利益	388	133	▲255	▲65.7%
受注残高	12,232	5,891	▲6,341	▲51.8%

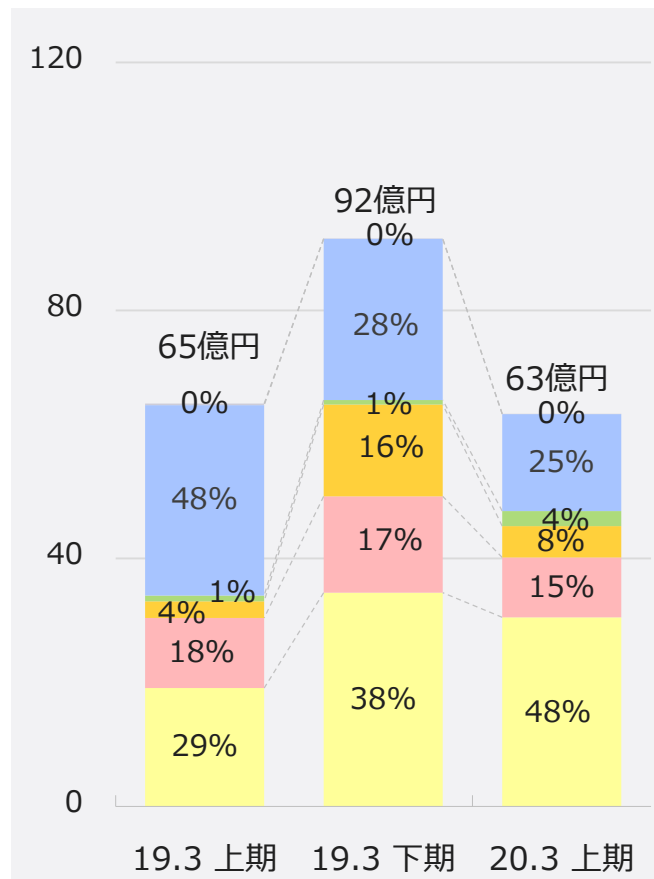
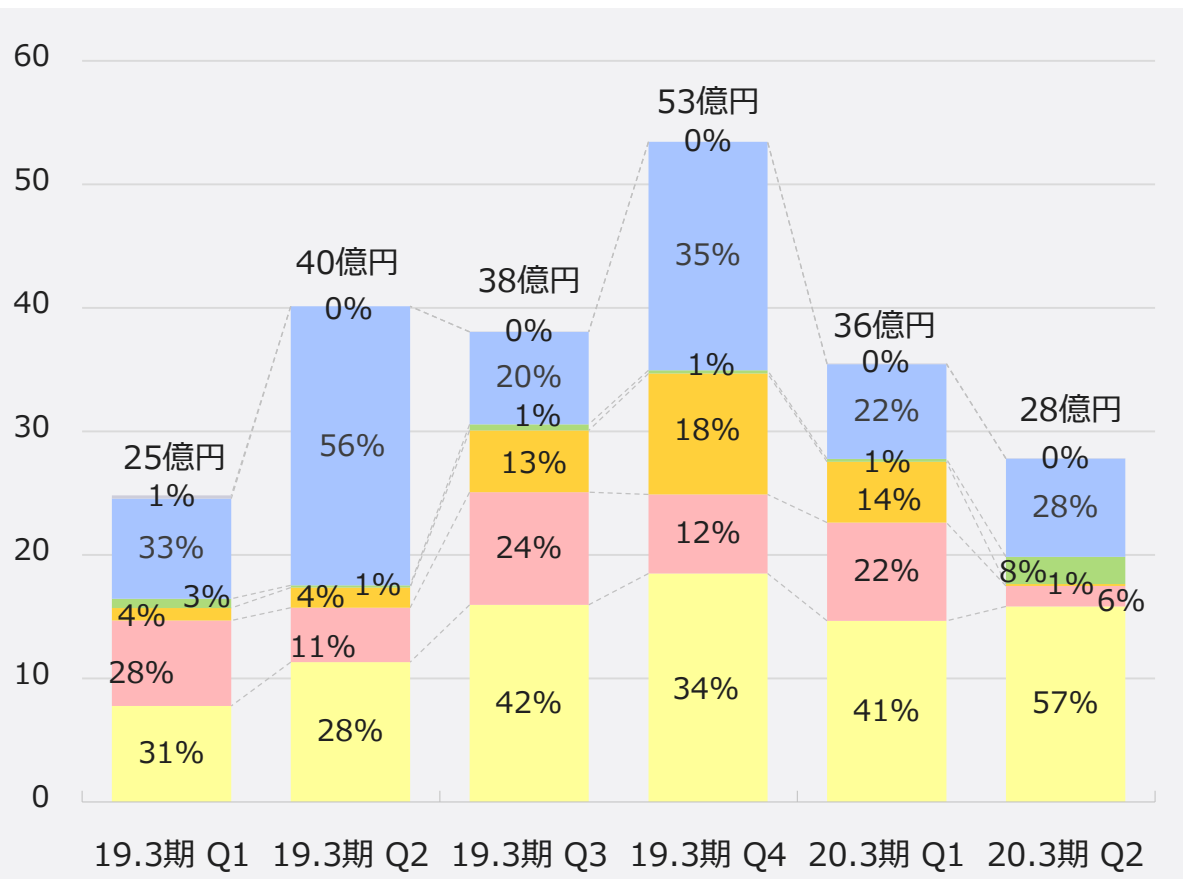
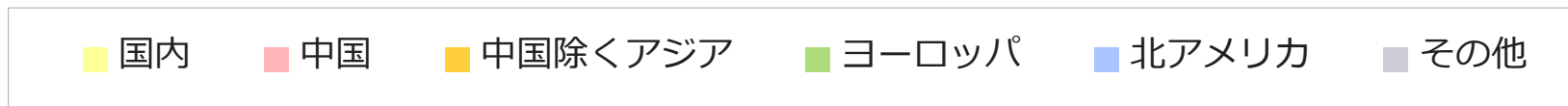
受注高



売上高



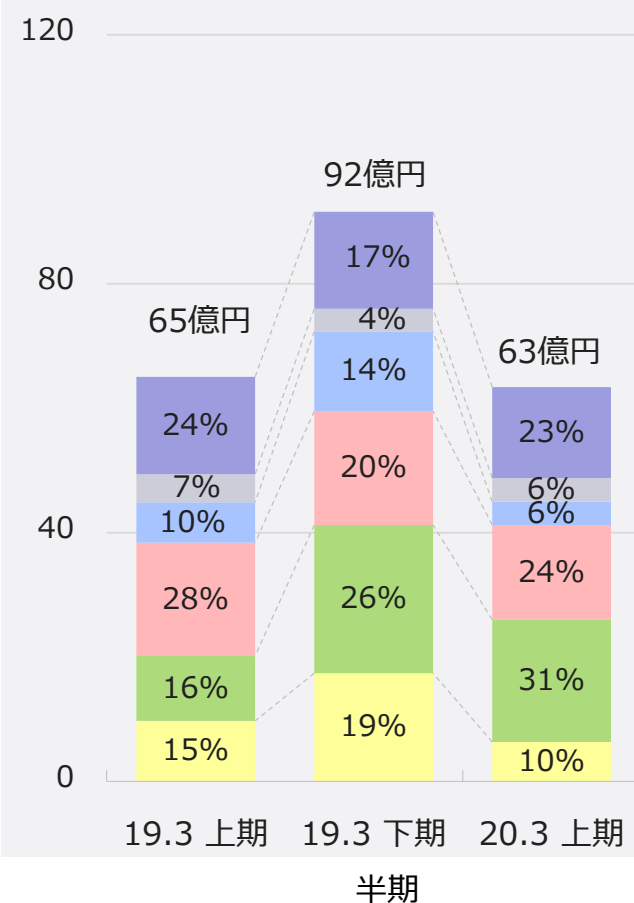
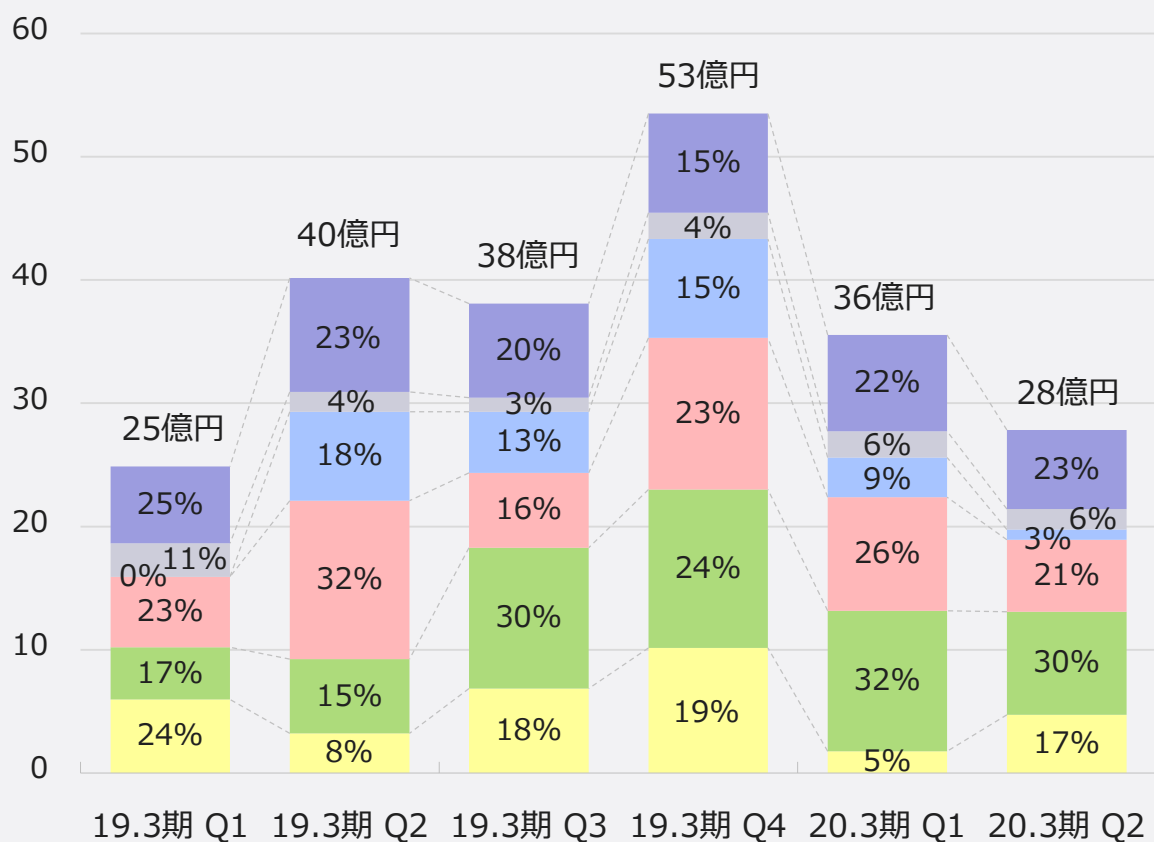
# マシンツール事業 地域別売上高





# マシンツール事業 機種別売上高

■ ANシリーズ ■ TNシリーズ ■ CSシリーズ ■ DLF n ■ その他 ■ 部品・改造・修理



# 2020年3月期 業績予想

# 連結業績予想

・ 直近（2019年8月8日）予想からの変更あり

（百万円）

	19.3期 通期実績	20.3期通期予想				
		直近予想	今回予想	対前年同期		対直近予想
				額	率	
受注高	124,254	129,000	132,000	+7,745	+6.2%	+3,000
売上高	129,104	129,000	132,000	+2,895	+2.2%	+3,000
営業利益	23,106	14,600	16,400	▲6,706	▲29.0%	+1,800
営業利益率	17.9%	11.3%	12.4%	-	-	-
経常利益	23,454	15,200	17,000	▲6,454	▲27.5%	+1,800
当期純利益	16,855	11,200	12,700	▲4,155	▲24.7%	+1,500

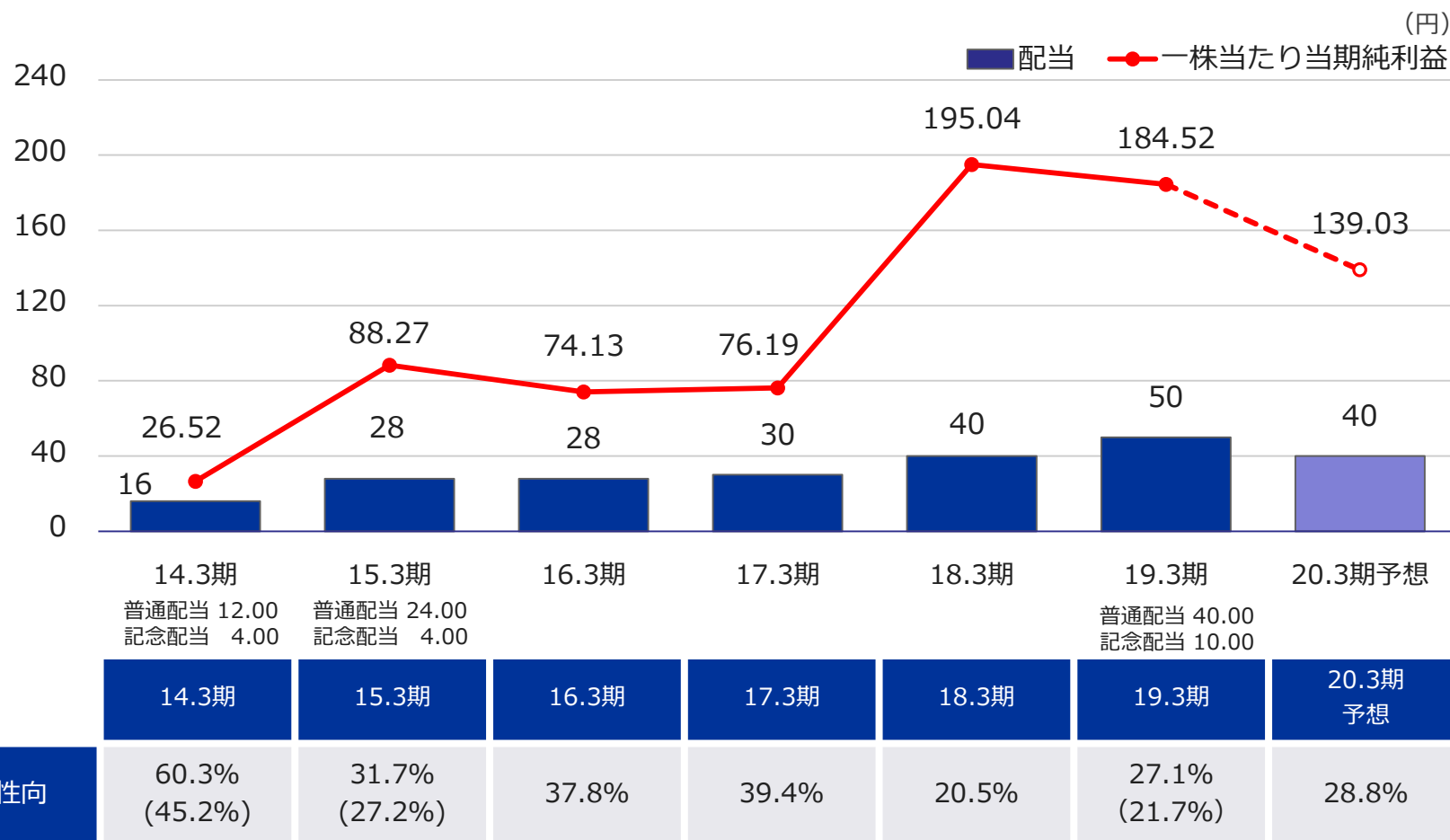
# セグメント受注・売上予想

・直近（2019年8月8日）予想からの変更あり

（百万円）

		19.3期 通期実績	20.3期通期予想				
			直近予想	今回予想	対前年同期		対直近予想
					額	率	
RS 事業	受注高	107,632	114,500	121,500	+13,867	+12.9%	+7,000
	売上高	111,536	113,500	119,500	+7,963	+7.1%	+6,000
	受注残	17,682	18,682	19,682	+2,000	+11.3%	+1,000
MT 事業	受注高	14,865	12,000	8,000	▲6,865	▲46.2%	▲4,000
	売上高	15,660	13,000	10,500	▲5,160	▲33.0%	▲2,500
	受注残	8,449	7,449	5,949	▲2,500	▲29.6%	▲1,500
その他 事業	受注高	1,756	2,500	2,500	+743	+42.4%	±0
	売上高	1,907	2,500	2,000	+92	+4.8%	▲500
	受注残	170	170	670	+500	+292.4%	+500

# 1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金

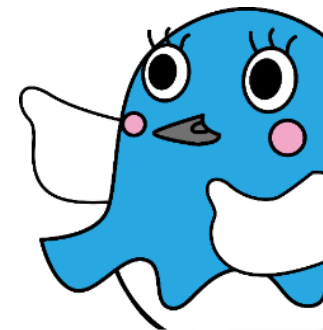


( ) 普通配当の配当性向

# 事業方針・その他

# コーポレートビジョン

デジタル革命を先取りした次世代型商品の開発  
ならびに生産・販売革新により  
業界NO.1ブランドを築く



# ロボットソリューション事業方針

スローガン：FUJIブランド30

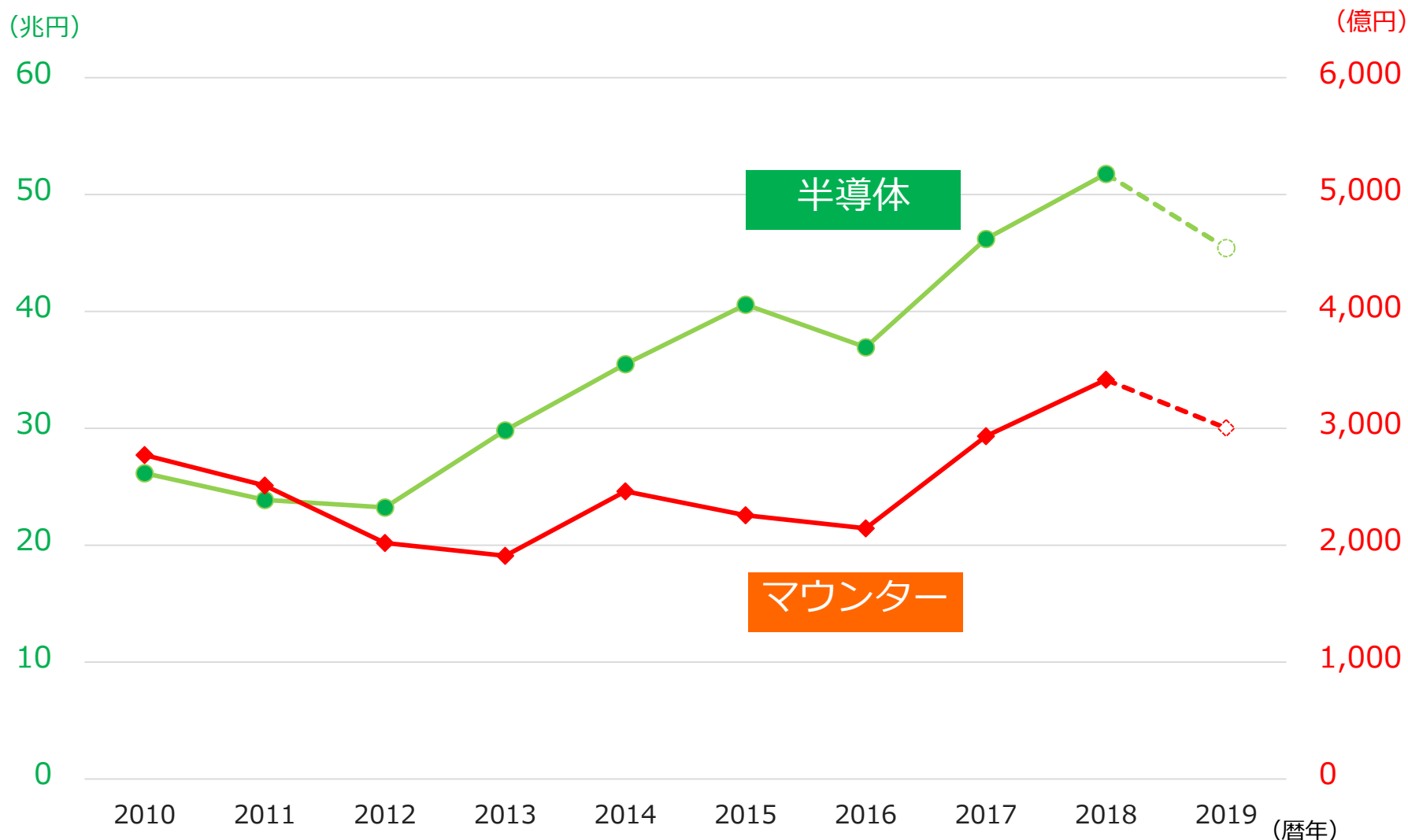
事業ビジョン：実装機市場シェア30%確保

事業方針：

- ・FUJIブランドの確立
- ・FUJIブランド商品の充実
  - 新製品およびSmart Factoryの市場展開-
- ・顧客満足度の向上
- ・次世代のものづくり改革



# 半導体とマウンターの需要比較



半導体 : WSTS マウンター : 各種データより F U J I 作成 (2019年は F U J I 予測)

# マシンツール事業方針

スローガン：利益の徹底追求

安定して黒字化できる体質をつくる

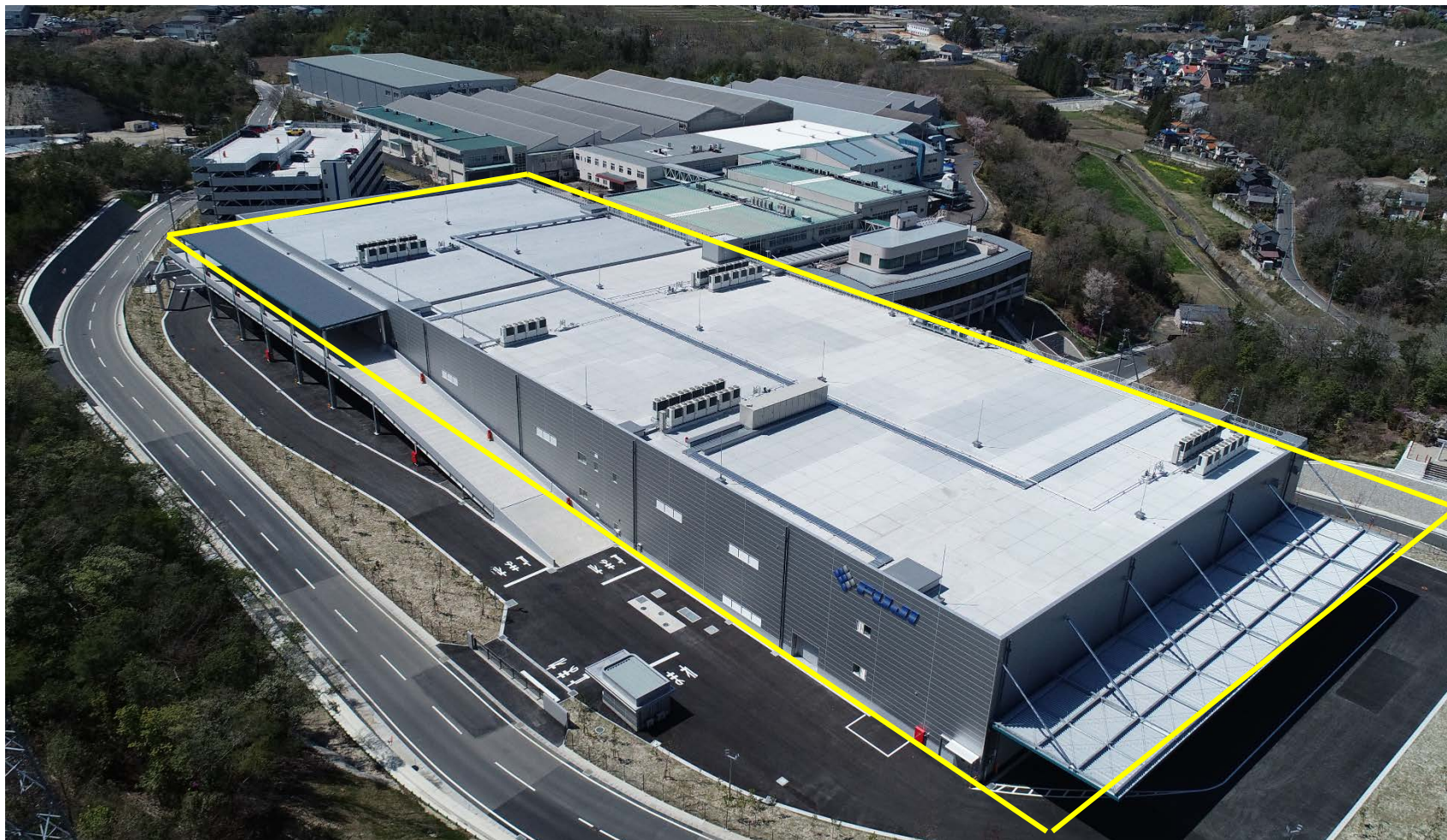
事業ビジョン：3×3（スリーバイスリー）を活かした  
エコシステムの構築

3つの機能（販売、技術、生産）と3つの拠点  
（豊田事業所、昆山富士、フジマシンアメリカ）が互いの  
リソースを有効活用して事業価値を向上できる  
仕組みをつくる

事業方針：

- ・ 新市場、新規顧客開拓
- ・ 販売戦略と連動した製品開発
- ・ 標準化とIoTによる生産性向上
- ・ お客様第一の品質保証体制

# 豊田事業所に新棟竣工



延べ床面積 20,000㎡

1階 マシンツール事業、2階 ロボットソリューション事業の生産現場

新しいものづくり体制の構築

# SDGsへの取り組み



当社は、事業活動を通じてSDGsの実現に貢献します。

## ●環境への取り組み

- 環境に配慮した省電力・省スペース製品の開発
- CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する省エネルギー工場



## ●平等な社会へ（ジェンダーと多様性）

- 性別・国籍によらない採用選考
- 「あいち女性輝きカンパニー」認証取得



## ●ガバナンスへの取り組み

- グループ行動憲章の制定とグループ会社全従業員への展開
- 取引先との健全なパートナーシップの構築



## ● 従業員の働き方改革と健康推進

- FUJI健康経営宣言の制定
- 社員が能力を発揮できる人事制度、人材育成



## ● 技術革新を通じた社会発展への貢献

- 電子部品実装ロボット・工作機械の開発を通じた自動化への貢献
- 既存技術の強みを活かし、介護ロボット・宅配ロッカーシステム・プラズマ装置などの新事業の開拓



## ● 地域との共生・教育

- “えいご”をつかって“かがく”を学ぶ  
イングリッシュアフタースクール「teracoya THANK」の運営
- 地域交流イベントへの積極的な参画



# 成長戦略

## ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発  
を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・  
ロボットシステム等  
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



電子部品実装ロボット  
(ロボティックマウンター)



半導体製造装置

工作機械

(ロボット搬送システム)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

コアテクノロジー

解析技術

モーション  
コントロール  
技術

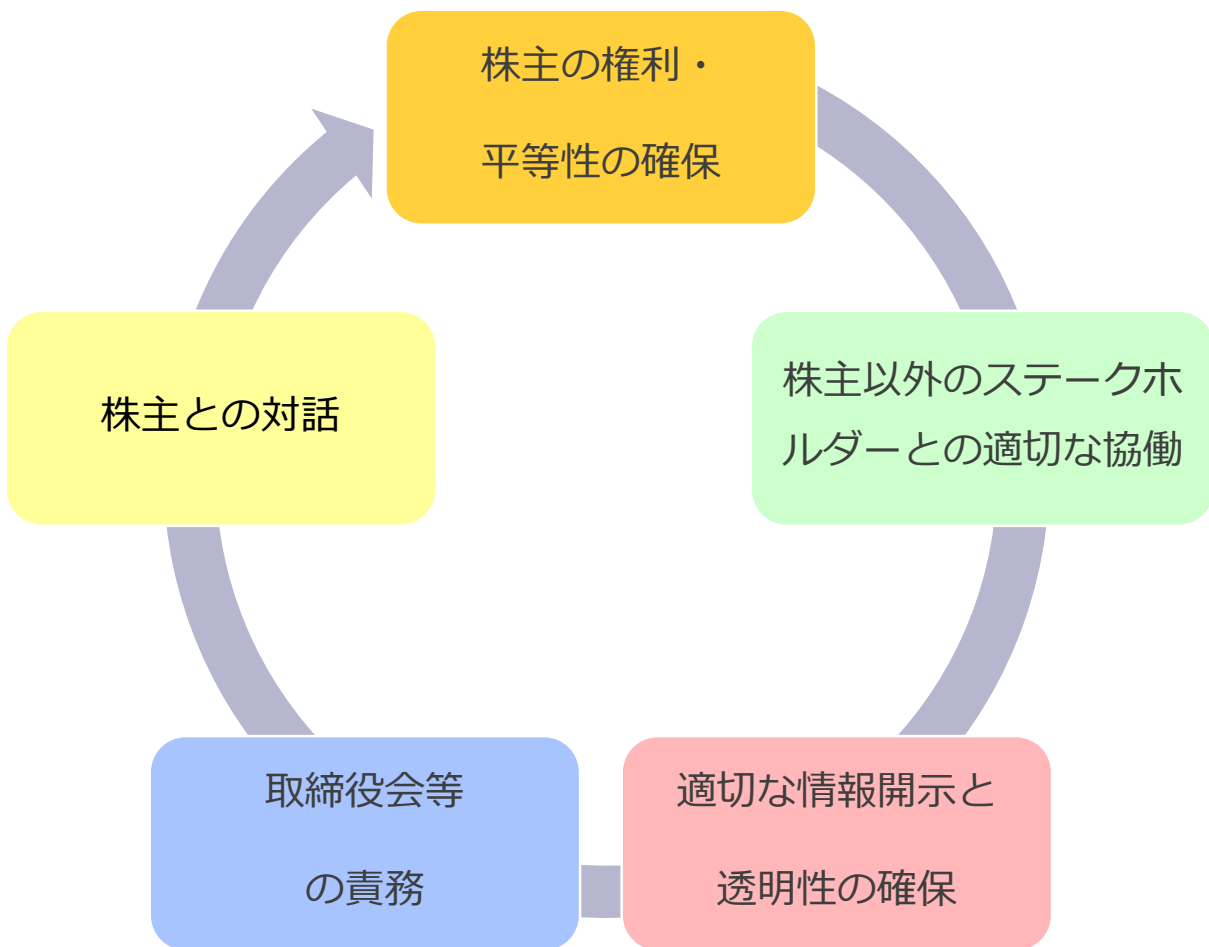
ビジョン  
技術

効率的な資金活用による迅速な施策実現

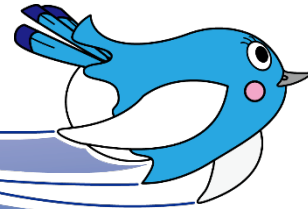
- ・販売力強化 ・研究開発 ・M&A
- ・技術提携 ・モノづくりアライアンス ・資本参加

# コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
  - ・ 英文開示の充実
  - ・ 招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
  - ・ 女性の活用を含む社内の多様性の確保
  - ・ 取引先・地域社会との絆
  - ・ 生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
  - ・ コーポレートガバナンス報告書等への開示
  - ・ ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
  - ・ 取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
  - ・ 独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
  - ・ IR説明会開催、SR面談の随時対応



# FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI



## 【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社 F U J I